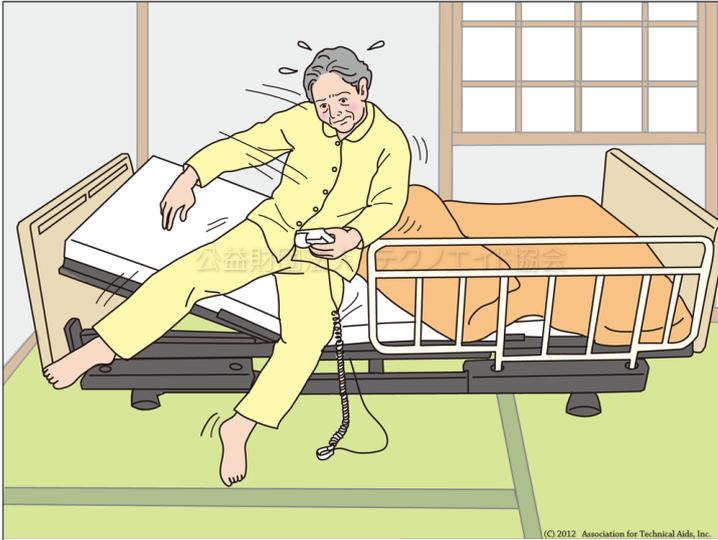


Case : 33

頭側の方に座って手元スイッチを操作してしまい、身体が横に倒れ、転落しそうになる

場面の説明

ベッドの高さを上げるつもりが、背上げの操作ボタンを押してしまい、バランスを崩した



利用シーン	 起居・就寝  リモコン操作
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 特殊寝台
分類コード (CCTA95)	181209 (電動ギャッチベッド)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

立ち上がりを楽しむために、ベッドの高さを上昇させようとし、間違っって背上げの操作ボタンを押したのかもしれませんが。すぐに間違いに気がつけば大事には至らないことではありますが、パニックになってしまうことも考えられます。頻繁にこのような操作ミスが起こるときには、操作ボタンに目印を付けるなどの予防策を講じてはいかがでしょうか。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：適切な位置に座っていなかった
- 人：本人が起き上がることを考えずに家族が柵を設置してしまった
- モノ：背上げ・膝上げ・高さ調整の操作ボタンが区別しにくい

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 33

頭側の方に座って手元スイッチを操作してしまい、身体が横に倒れ、転落しそうになる

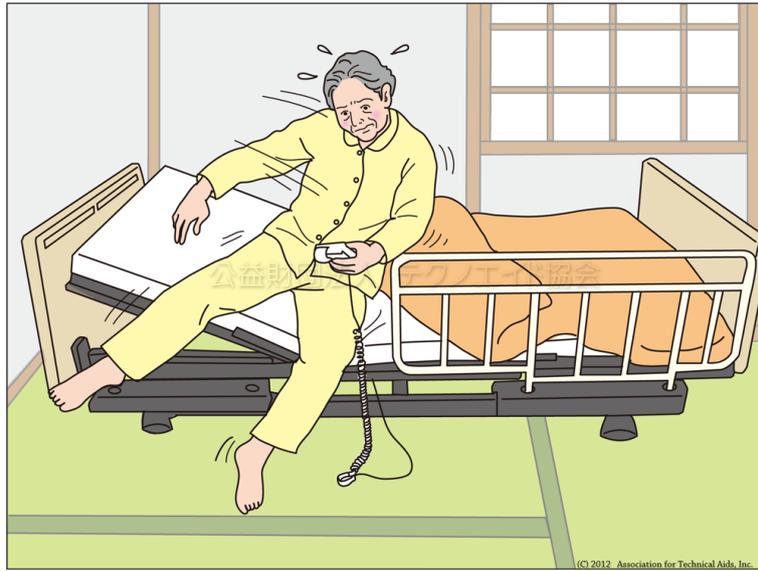
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

ベッドの高さを上げるつもりが、背上げの操作ボタンを押してしまい、バランスを崩した



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ